

Kenshin Disclosure 2016.9

けんしんの現況



中間期ディスクロージャー誌

2016年(平成28年)4月1日～2016年(平成28年)9月30日

けんしんの概要

本店 〒380-8668
長野市新田町1103番地1
電話 026-233-2111(代表)

設立 昭和29年11月20日

出資金 10億57百万円
組合員数 132,377人
預金残高 9,254億円
貸出金残高 2,751億円
自己資本比率 19.27%(バーゼルⅢに基づく国内基準)
職員数 725人(男438人 女287人)
店舗数 51店舗
海外拠点 1か所(シンガポール駐在員事務所)
営業地域 長野県一円
(平成28年9月30日現在)



本 店



第2本店

CONTENTS

理事長からのメッセージ	1
預金・貸出金の推移	2
決算損益の推移	2
自己資本額・自己資本比率の推移	3
不良債権残高・不良債権比率の推移	3
資金運用状況	3
主要経営諸指標	4
不良債権等の情報	5
自己資本の充実の状況等	5

(注) 本資料において掲載してある計数は、下記のとおり表示しております。

- 金額
単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 諸利回・諸比率
小数点第3位以下を切り捨てて第2位まで表示しております。
- 構成比
小数点第3位以下を切り捨てて表示しているため、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。
- 主要経営諸指標・自己資本の充実の状況等における残高表示
残高が全くない場合は「—」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示、当該期に勘定科目が存在しない場合は「／」表示しております。



地域の魅力を プロデュースし、 地域社会の発展に 尽くします

理事長からのメッセージ

平素よりみなさまには、長野県信用組合（けんしん）に格別のご高配を賜りまして、心から感謝申し上げます。

平成28年度9月期の中間決算がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

ご高覧を賜り、当組合の現況をご理解いただければ幸いに存じます。

私どもけんしんは、厳しい金融環境の下、地域経済の支援・貢献に弛まず取り組むとともに、一層の業績向上と経営体質の強化・改善に徹してまいりました。

その結果、上半期の業績は、預金残高が9,254億円（前年同期比1.44%増加）、貸出金残高が2,751億円（前年同期比0.49%増加）に増加したほか、中間純利益については、過去2番目の高水準となる21億47百万円を計上するなど、着実な成果をあげることができました。

また、みなさまのご期待に沿い、平日夜間相談会（いろいろ相談会）の毎週開催をはじめとする顧客サービスの向上、経営支援・地方創生のための積極的取り組み、シンガポール駐在員活動の活性化、その他経営全般の合理化あるいは新システムの導入、新商品の開発等、役職員あげて取り組んでまいりました。

一方、老朽化店舗の建て替えを順次進め、飯田支店が10月に移転オープンしたほか、山ノ内支店の建替計画も来年5月の新築開店に向けて8月から仮店舗での営業を開始いたしました。改めてみなさまのご支援に対しまして、衷心よりお礼を申し上げます。

今後、下半期におきましても、全力で地域の魅力をプロデュースし、地域社会の発展に尽くしてまいります。

みなさまにおかれましては、今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

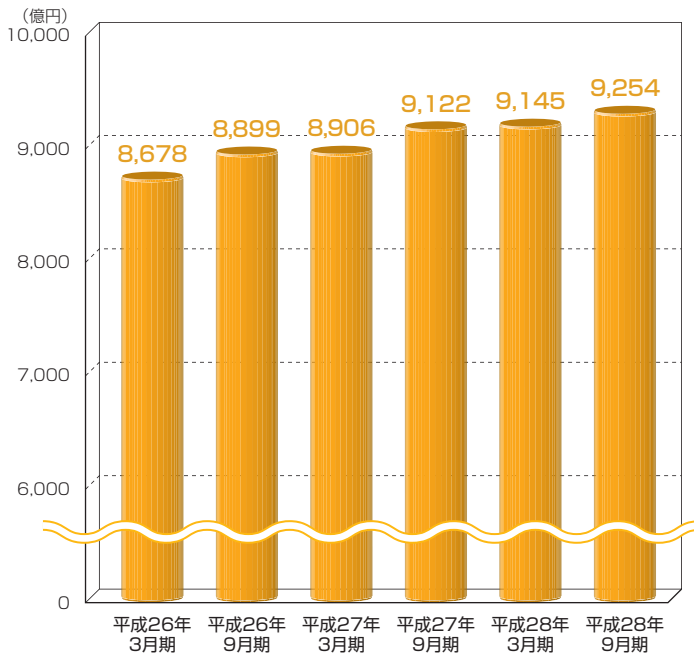
平成28年10月

理事長 黒岩 清

預金・貸出金の推移

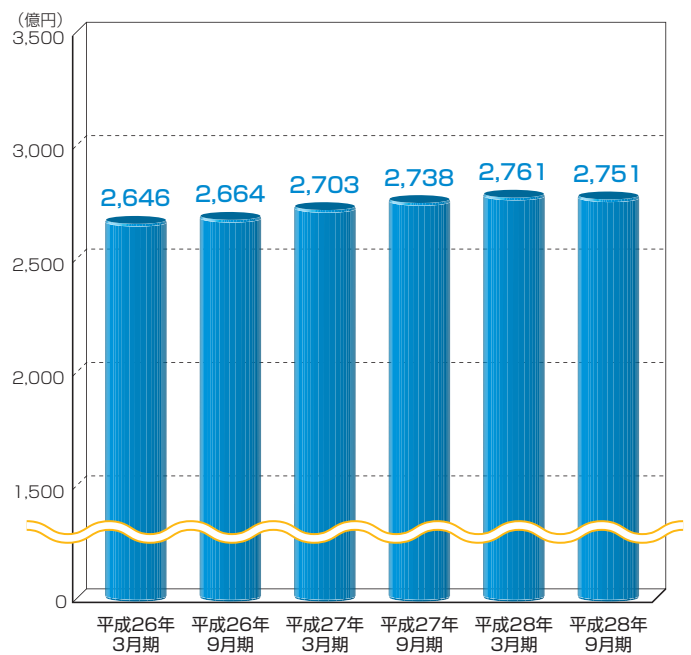
預金

個人定期預金・定期積金「夢パレット」を主体とした個人預金及び法人預金の拡大に努めた結果、前年同期比131億円増加して残高は9,254億円となりました。



貸出金

医療関連融資、国際支援融資、保証協会付融資を主体とした事業性融資及び個人ローンへの積極的な取り組みの結果、前年同期比13億円増加して残高は2,751億円となりました。



決算損益の推移

(注)9月期は、4月から9月までの6か月間の計数を記載しております。

業務純益

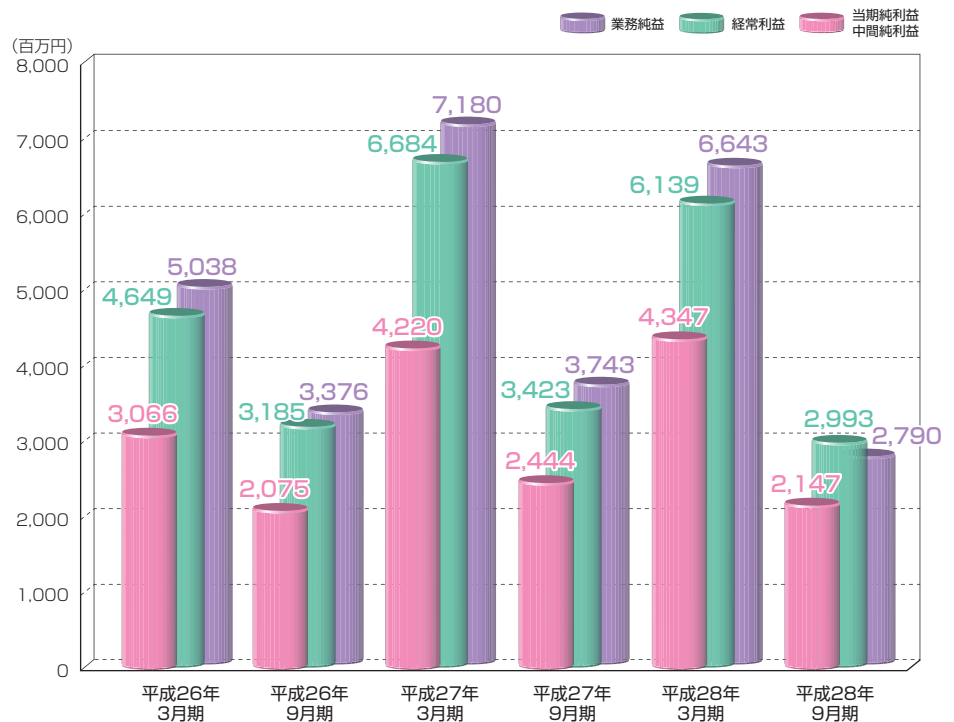
業務純益は、前年同期比9億53百万円減益の27億90百万円となりました。市場金利の低下による影響を受け、貸出金利息、有価証券利息配当金が減少したことに加え、国債等債券売却損益が減少したことが主な要因として挙げられます。

経常利益

経常利益は、前年同期比4億30百万円減益の29億93百万円となりました。与信関連費用のうち、個別貸倒引当金繰入額が減少したものの、業務純益が減益となったことが主な要因として挙げられます。

当期純利益・中間純利益

中間純利益は、経常利益の減益を受け、前年同期比2億96百万円減益の21億47百万円となりました。中間決算ベースでは過去最高益となった平成27年9月期の24億44百万円に次ぐ水準となりました。



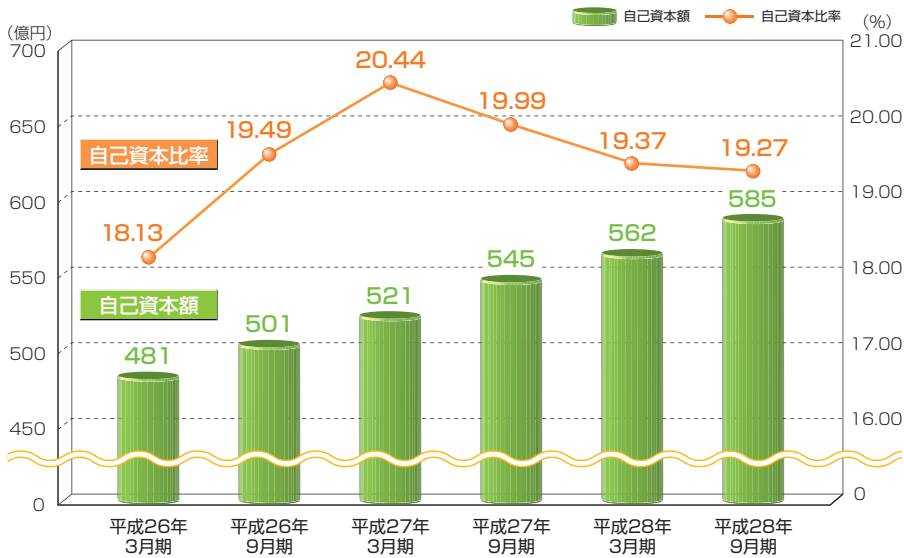
自己資本額・自己資本比率の推移

自己資本

自己資本比率は、過去2番目となる中間純利益を確保したことを受けて自己資本額が増加したものの、リスク・アセットが増加したため、19.27%（前期末比0.10ポイント低下）となりました。

当組合の自己資本比率は国内基準の4%はもとより、国際基準の8%を大幅に上回っており、経営の健全性・安定性は十分確保しております。

自己資本比率とは、金融機関の体力を示す最も重要な指標であり、損失が発生する可能性のある資産総額（リスク・アセット）に対する、自己資本（返済の必要がない資本）の割合を示しています。この比率が高いほど、自己資金が豊富にあり経営基盤がしっかりしているといえます。

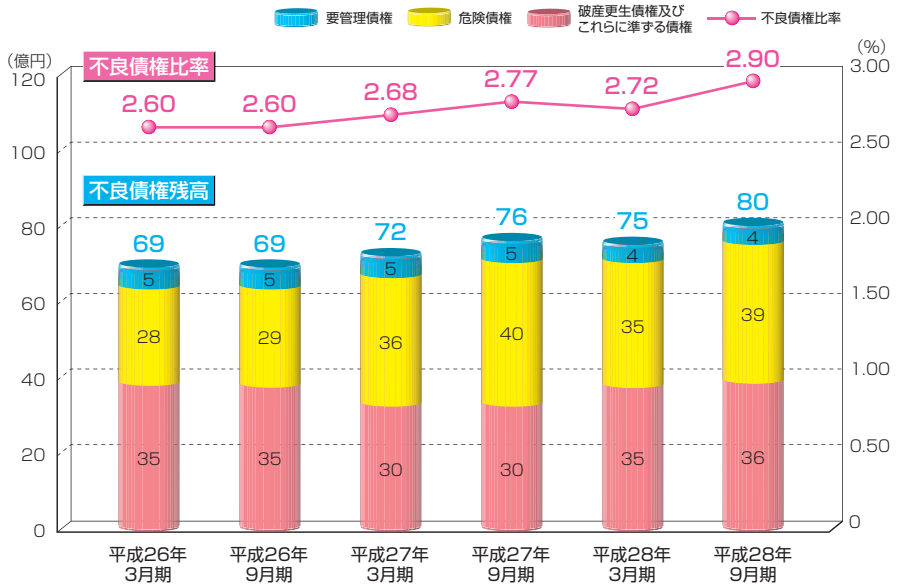


（注）パーセルⅢに基づく国内基準による値を記載しております。

不良債権残高・不良債権比率の推移（金融再生法ベース）

不良債権

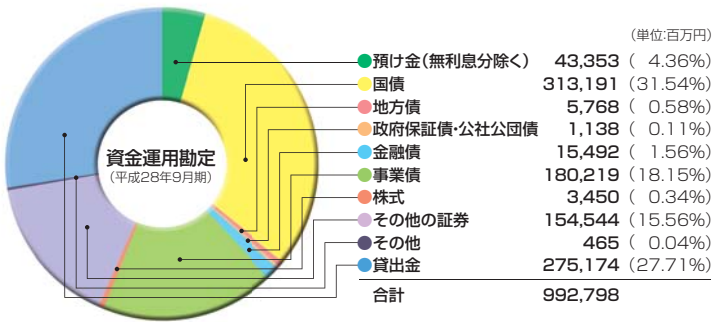
不良債権は、残高（金融再生法ベース）が80億16百万円（前期末比4億63百万円増加）となりました。また、総与信残高に占める比率は2.90%となり、前期末に比べ0.18ポイント悪化しました。（部分直接償却を実施した場合の不良債権の額は62億77百万円となり、不良債権比率は2.28%となります。）



資金運用状況

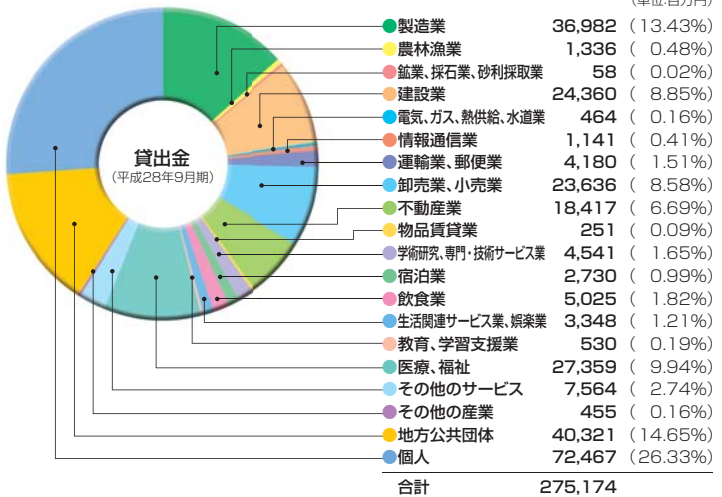
資金運用状況

有価証券運用は、安全性の高い債券を主体に運用しております。



貸出金業種別構成比

貸出金の業種別残高構成比は次のとおりになっております。



主要経営諸指標

貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	平成27年9月期 (平成27年9月30日現在)	平成28年9月期 (平成28年9月30日現在)	平成28年3月期 (平成28年3月31日現在)
(資産の部)			
現金	11,243	8,865	10,284
預け金	40,686	43,353	37,540
有価証券	670,018	673,805	678,747
貸出金	273,812	275,174	276,157
その他資産	3,304	17,998	3,203
有形固定資産	15,577	15,581	15,666
無形固定資産	1,326	1,156	1,285
債務保証見返	672	732	676
貸倒引当金	△4,220	△4,163	△4,064
(うち個別貸倒引当金)	(△3,490)	(△3,384)	(△3,413)
資産の部合計	1,012,421	1,032,503	1,019,499
(負債の部)			
預金積金	912,256	925,424	914,549
その他負債	2,304	16,685	3,383
賞与引当金	393	426	394
役員賞与引当金	—	—	34
退職給付引当金	1,694	1,717	1,706
役員退職慰労引当金	36	46	41
睡眠預金払戻損失引当金	45	38	49
偶発損失引当金	63	123	97
繰延税金負債	10,015	6,829	10,499
債務保証	672	732	676
負債の部合計	927,482	952,024	931,434
(純資産の部)			
出資金	1,058	1,057	1,057
普通出資金	1,058	1,057	1,057
利益剰余金	52,967	57,007	54,871
利益準備金	1,058	1,057	1,058
その他利益剰余金	51,909	55,950	53,812
特別積立金	49,461	53,801	49,461
中間(当期)未処分剰余金	2,448	2,149	4,351
組合員勘定合計	54,025	58,065	55,928
その他有価証券評価差額金	30,913	22,413	32,136
評価・換算差額等合計	30,913	22,413	32,136
純資産の部合計	84,939	80,479	88,065
負債及び純資産の部合計	1,012,421	1,032,503	1,019,499

損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	平成27年9月期 (平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)	平成28年9月期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)	平成28年3月期 (平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで)
経常収益	9,415	10,761	18,652
資金運用収益	7,244	6,889	14,343
貸出金利息	2,738	2,683	5,480
預け金利息	26	19	54
有価証券利息配当金	4,458	4,166	8,786
その他の受入利息	20	19	21
役務取引等収益	247	240	475
受入為替手数料	106	106	214
その他の役務収益	141	133	261
その他業務収益	1,658	3,420	3,451
国債等債券売却益	1,649	3,408	3,415
その他の業務収益	8	12	36
その他経常収益	265	211	381
償却債権取立益	10	0	12
株式等売却益	254	208	320
その他の経常収益	—	2	48
経常費用	5,991	7,768	12,513
資金調達費用	492	438	982
預金利息	492	437	982
給付補填備金繰入額	0	0	0
役務取引等費用	451	492	918
支払為替手数料	40	42	82
その他の役務費用	410	450	836
その他業務費用	36	2,156	730
国債等債券売却損	35	2,144	728
その他の業務費用	1	11	2
経費	4,405	4,545	9,053
人件費	2,504	2,565	5,089
物件費	1,720	1,788	3,614
税金	180	191	348
その他経常費用	606	137	827
貸倒引当金繰入額	505	103	595
株式等売却損	81	6	145
株式等償却	2	—	2
その他の経常費用	16	27	84
経常利益	3,423	2,993	6,139
特別利益	—	—	16
固定資産処分益	—	—	16
特別損失	16	15	52
減損損失	16	15	52
税引前中間(当期)純利益	3,407	2,978	6,102
法人税、住民税及び事業税	984	787	1,827
法人税等調整額	△21	43	△72
法人税等合計	963	830	1,754
中間(当期)純利益	2,444	2,147	4,347

経営指標の推移

(単位:百万円)							
		平成26年3月期	平成26年9月期	平成27年3月期	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
利益	経常収益	16,535	9,144	18,890	9,415	18,652	10,761
	業務純益	5,038	3,376	7,180	3,743	6,643	2,790
	経常利益	4,649	3,185	6,684	3,423	6,139	2,993
	中間純利益(3月期は当期純利益)	3,066	2,075	4,220	2,444	4,347	2,147
残高	預金積金残高	867,840	889,962	890,699	912,256	914,549	925,424
	貸出金残高	264,676	266,465	270,336	273,812	276,157	275,174
	有価証券残高	608,117	640,004	668,534	670,018	678,747	673,805
	総資産額	929,541	966,939	995,468	1,012,421	1,019,499	1,032,503
	純資産額	55,489	65,680	87,073	84,939	88,065	80,479
出資総額		1,063	1,063	1,058	1,058	1,057	1,057
職員数		652人	673人	651人	696人	680人	725人

有価証券の状況

(単位:百万円)							
		平成28年9月期					
		貸借対照表計上額		評価損益		うち評価益	
		平成28年3月期比		平成28年3月期比			
保有目的別	満期保有目的	102,302	△86	14,929	△372	14,929	—
	その他有価証券	571,503	△4,854	30,843	△13,436	32,994	2,150
合計		673,805	△4,941	45,773	△13,808	47,923	2,150
種類別	株式	3,450	△1,080	1,015	△508	1,094	79
	債券	515,810	8,332	35,277	△340	36,359	1,081
	その他	154,544	△12,194	9,480	△12,959	10,469	988

(注)「評価損益」は、平成28年9月末時点の帳簿価額と市場価格等に基づく時価との差額を計上しております。

自己資本の充実の状況等

諸利回・諸比率

(単位:%)

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成28年3月期
資金運用利回	1.56	1.44	1.53
経費率	0.98	0.99	1.00
資金調達原価率	1.09	1.08	1.11
総資金利鞘	0.47	0.36	0.42
預貸率(末残)	30.01	29.73	30.19
預証率(末残)	73.44	72.81	74.21
業務収支率	59.08	73.55	63.64

不良債権等の情報

リスク管理債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分		残 高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 {(B+C)/A×100}
破綻先 債権	平成28年 3月期	47 (0.01)	10	36	100.00
	※	14 (0.00)	10	4	100.00
	平成28年 9月期	150 (0.05)	78	72	100.00
延滞債権	平成28年 3月期	6,995 (2.53)	3,194	3,359	93.67
	※	5,295 (1.92)	3,194	1,659	91.65
	平成28年 9月期	7,424 (2.69)	3,604	3,295	92.93
3か月以上 延滞債権	平成28年 3月期	— (—)	—	—	—
	※	— (—)	—	—	—
	平成28年 9月期	— (—)	—	—	—
貸出条件 緩和債権	平成28年 3月期	489 (0.17)	299	67	75.11
	※	489 (0.17)	299	67	75.11
	平成28年 9月期	421 (0.15)	271	43	74.62
合計	平成28年 3月期	7,532 (2.72)	3,504	3,463	92.51
	※	5,799 (2.11)	3,504	1,730	90.27
	平成28年 9月期	7,996 (2.90)	3,953	3,411	92.09
	※	6,264 (2.29)	3,953	1,679	89.91

残高()内は、貸出金残高に占める比率

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分		残 高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D=B+C)	保全率 (D/A×100)	貸倒引当率 (C/(A+B)×100)
破産更生 債権及び これらに 準ずる債権	平成28年 3月期	3,536 (1.27)	1,555	1,980	3,536	100.00	100.00
	※	1,796 (0.65)	1,555	240	1,796	100.00	100.00
	平成28年 9月期	3,632 (1.31)	1,660	1,972	3,632	100.00	100.00
危険債権	平成28年 3月期	3,526 (1.27)	1,662	1,422	3,084	87.46	76.28
	※	3,526 (1.28)	1,662	1,422	3,084	87.46	76.28
	平成28年 9月期	3,961 (1.43)	2,034	1,402	3,436	86.75	72.76
要管理 債権	平成28年 3月期	489 (0.17)	299	67	367	75.11	35.72
	※	489 (0.17)	299	67	367	75.11	35.72
	平成28年 9月期	421 (0.15)	271	43	314	74.62	29.01
不良債権 合計	平成28年 3月期	7,552 (2.72)	3,517	3,470	6,988	92.53	86.02
	※	5,812 (2.11)	3,517	1,730	5,248	90.29	75.42
	平成28年 9月期	8,016 (2.90)	3,966	3,418	7,384	92.11	84.40
正常債権	平成28年 3月期	269,486					
	※	269,486					
	平成28年 9月期	268,076					
合計	平成28年 3月期	277,039					
	※	275,299					
	平成28年 9月期	276,092					
	※	274,353					

残高()内は、総と信残高に占める比率

各区分ごとに参考数値を記載しております。

自己資本の構成に関する開示事項

(単位:百万円)

項目	平成28年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る 会員勘定の額	58,065	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,057	
うち、利益剰余金の額	57,007	
うち、外部流出予定額(△)	—	
うち、上記以外に該当するものの額	—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される 引当金の合計額	805	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	805	
うち、適格引当金コア資本算入額	—	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	58,871	
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る ものを除く。)の額の合計額	334	502
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツ に係るものの以外の額	334	502
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	334	
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	58,536	
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	278,898	
資産(オン・バランス)項目	278,650	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入 される額の合計額	502	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・ サービシング・ライセンスに係るものを除く。)	502	
オフ・バランス取引等項目	248	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を 8パーセントで除して得た額	24,752	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	303,650	
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	19.27%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」に基づき算出しております。
なお、当組合は国内基準を採用しております。

金利リスクに関する事項

アウトライヤー基準に基づく金利リスク

(単位:百万円)

	平成28年9月期
	金利リスク(アウトライヤー基準)
金利ショックに対する 経済価値の低下額 ^①	22,476

(単位:百万円)

運用勘定		調達勘定	
区分	金利リスク量 平成28年9月期	区分	金利リスク量 平成28年9月期
貸出金	672	流動性預金	△236
有価証券等	22,238	定期性預金	△220
預け金	23		
運用勘定合計 ^②	22,934	調達勘定合計 ^③	△457

金利ショックに対する 経済価値の低下額「金利リスク」 ^④ = 運用勘定の金利リスク量 ^② + 調達勘定の金利リスク量 ^③ (22,476百万円) (22,934百万円) (△457百万円)

金利リスクの自己資本の額に対する比率は、パーゼルⅢに基づく国内基準で38.39%となります。
今後も当組合は、収益性を考慮しつつ金利リスクの軽減に努めるとともに、経営体力強化のために利益の積み上げによる自己資本の増強を図ります。

※ 部分直接償却について

当組合は、部分直接償却を実施しておりません。部分直接償却を実施した場合は、表記(※印のついた行)のとおりとなります。
部分直接償却とは、自己査定により回収不可能又は無価値と判定された担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(Ⅳ分類債権額)を回収不能見込額として、債権額から直接減額することです。

●お問い合わせ先

〒380-8668 長野市新田町1103番地1

総合企画部 TEL.026-233-2111(代)

[ホームページ] <http://www.naganokenshin.jp>

[E - m a i l] nkenshin@naganokenshin.jp



フリースタイルスキー 元日本代表
三星 マナミ

全店開催！お気軽にご来店ください！

毎週木曜日は
いろいろ相談会

※木曜日が休業日の場合は、相談会もお休みさせていただきます。

時間
午後3時～午後7時

- 車の購入・修理、住宅資金、学費など、さまざまな資金のご相談に！
- 年金、相続、資産運用などのご相談に！

選べる4つのプランでパワーアップ！

けんしんフリーローン



条件の異なる
4つのプランを同時審査

セレクト1

セレクト2

セレクト3

セレクト4

※金利は金融情勢により変更となる場合があります。
※店頭またはホームページでご返済額を試算いただけます。
※審査の結果、ご融資できない場合がございます。

●詳しくは店頭またはホームページをご覧ください。



THE NAGANO-KEN SHINKUMI BANK

長野県信用組合 けんしん